

平成23年8月5日

平成23年度普通交付税及び地方特例交付金決定額等について

I 普通交付税

1. 普通交付税決定額(全国)

(単位: 億円、%)

| 区分 | 平成23年度 | 平成22年度 (当初算定) | 対前年度伸率 |
|------|---------|------------------|--------|
| 道府県分 | 87,255 | 84,822 | 2.9 |
| 市町村分 | 76,938 | 73,975 | 4.0 |
| 合計 | 164,193 | 158,797 | 3.4 |

※ なお、平成23年度の普通交付税決定額に臨時財政対策債の発行可能額を加えた実質的な地方交付税額は、
 ・道府県分: 124,754億円(対前年度伸率△5.0%)
 ・市町村分: 98,972億円(対前年度伸率△1.2%)

2. 本県分

(1) 交付決定額 (臨時財政対策債を加えた額)

県分 2,194億8,317万3千円 (2,682億9,505万8千円)

市町村分 1,945億4,905万4千円 (2,196億4,937万1千円)

(2) 対前年度比較

ア 県分の交付決定額は、前年度に比べ64億7,130万5千円(3.0%)の増となった。

交付決定額に臨時財政対策債の発行可能額を加えた実質的な地方交付税額は、前年度に比べ76億5,960万6千円(2.8%)の減となった。

イ 市町村分の交付決定額は、前年度に比べ28億4,959万4千円(1.5%)の増となった。

六ヶ所村は平成8年度から引き続き不交付団体となっている。

実質的な地方交付税額(交付団体ベース)は、前年度に比べ40億1,550万9千円(1.8%)の減となった。

(市町村別の額は別紙1・2のとおり。)

(単位: 千円、%)

| 区分 | 平成23年度 | 平成22年度 (当初算定) | 差引増減 | 伸率 |
|------|---------------|------------------|---------------|--------|
| 県分 | (268,295,058) | (275,954,664) | (△7,659,606) | (△2.8) |
| | 219,483,173 | 213,011,868 | 6,471,305 | 3.0 |
| 市町村分 | (219,649,371) | (223,664,880) | (△4,015,509) | (△1.8) |
| | 194,549,054 | 191,699,460 | 2,849,594 | 1.5 |
| 合計 | (487,944,429) | (499,619,544) | (△11,675,115) | (△2.3) |
| | 414,032,227 | 404,711,328 | 9,320,899 | 2.3 |

※()は、普通交付税決定額に臨時財政対策債の発行可能額を加えた実質的な地方交付税額

3. 雇用対策・地域資源活用推進費(平成23年度計上)

(1) 雇用対策・地域資源活用推進費の概要

地域の雇用情勢等に応じて、雇用機会の創出や、地域の資源を活用した経済の活性化等を図るとともに、高齢者の生活支援など、住民のニーズに適切に対応した行政サービスを展開できるよう「雇用対策・地域資源活用推進費」を計上。

(2) 雇用対策・地域資源活用推進費の算定額(全国)

(単位: 億円)

| 区分 | 道府県分 | 市町村分 | 合計 |
|----------------|--------|--------|--------|
| 雇用対策・地域資源活用推進費 | 2, 250 | 2, 250 | 4, 500 |

(3) 本県分

(単位: 千円)

| 区分 | 県分 | 市町村分 | 合計 |
|----------------|-------------|-------------|--------------|
| 雇用対策・地域資源活用推進費 | 5, 166, 447 | 5, 882, 595 | 11, 049, 042 |

※市町村別算定額は別紙3のとおり。(不交付団体を含む。)

※参考

雇用対策・地域資源活用臨時特例費(平成22年度計上): 当初算定

(単位: 千円)

| 区分 | 県分 | 市町村分 | 合計 |
|------------------|-------------|-------------|--------------|
| 雇用対策・地域資源活用臨時特例費 | 5, 410, 220 | 6, 002, 418 | 11, 412, 638 |

※市町村別算定額は別紙3のとおり。(不交付団体を含む。)

※なお、「雇用対策・地域資源活用臨時特例費」は平成22年度で廃止。

4. 東日本大震災の被災団体に対する算定上の特例

東日本大震災に伴い「特定被災地方公共団体」に指定された団体に対して、小・中学校費、その他の教育費(幼稚園)や法人関係税等の算定において特例的な措置を講じ、財政運営に支障が生じないよう配慮。

II 臨時財政対策債発行可能額

1. 臨時財政対策債の概要

地方財源の不足に対処するため、平成23年度から平成25年度の間、地方財政法第5条の特例として発行されるもの(平成13年度から平成22年度の間においても同様に発行)。

なお、その元利償還金については、翌年度以降の基準財政需要額に全額算入される。

2. 臨時財政対策債発行可能額の算出方法

平成23年度においては、財政力の弱い地方公共団体に配慮し、財源調整機能を強化する観点から、今後3年間で段階的に「人口基礎方式」を廃止し、平成25年度に「財源不足額基礎方式」へ完全移行されることとなっており、昨年度に比べて、財源不足額基礎方式の割合が高くなっている。

①人口基礎方式

全ての地方公共団体を対象とし、各団体の人口を基礎として算出。

②財源不足額基礎方式

人口基礎方式による臨時財政対策債発行可能額を振り替えたときに、財源不足額が生じている計算となる地方公共団体を対象とし、当該不足額を基礎として算出(財政力に応じて逓増)。

(※財政力の弱い団体ほど臨時財政対策債発行可能額の割合を減らし、普通交付税の割合を増やす方向での算出。)

3. 臨時財政対策債発行可能額(全国)

(単位:億円、%)

| 区分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度伸率 |
|-----------|----------|----------|--------|
| 都道府県分 | 38,234.5 | 48,217.5 | △20.7 |
| うち人口基礎 | 10,600.5 | 25,883.5 | |
| うち財源不足額基礎 | 27,634 | 22,334 | |
| 市町村分 | 23,358.5 | 28,851.5 | △19.0 |
| うち人口基礎 | 9,092.5 | 19,131.5 | |
| うち財源不足額基礎 | 14,266 | 9,720 | |
| 合計 | 61,593 | 77,069 | △20.1 |
| うち人口基礎 | 19,693 | 45,015 | |
| うち財源不足額基礎 | 41,900 | 32,054 | |

※不交付団体を含む。

4. 本県分

県分 488億1,188万5千円

市町村分 252億2,322万4千円(市町村別発行可能額は別紙4のとおり)

(単位:千円、%)

| 区分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 差引増減 | 伸率 |
|-----------|------------|------------|-------------|-------|
| 都道府県分 | 48,811,885 | 62,942,796 | △14,130,911 | △22.5 |
| うち人口基礎 | 15,637,173 | 39,778,646 | △24,141,473 | △60.7 |
| うち財源不足額基礎 | 33,174,712 | 23,164,150 | 10,010,562 | 43.2 |
| 市町村分 | 25,223,224 | 32,232,159 | △7,008,935 | △21.7 |
| うち人口基礎 | 10,344,688 | 22,990,437 | △12,645,749 | △55.0 |
| うち財源不足額基礎 | 14,878,536 | 9,241,722 | 5,636,814 | 61.0 |
| 合計 | 74,035,109 | 95,174,955 | △21,139,846 | △22.2 |
| うち人口基礎 | 25,981,861 | 62,769,083 | △36,787,222 | △58.6 |
| うち財源不足額基礎 | 48,053,248 | 32,405,872 | 15,647,376 | 48.3 |

※不交付団体を含む。

Ⅲ 地方特例交付金

1. 地方特例交付金の概要

(1) 児童手当及び子ども手当特例交付金

平成 22 年度における子ども手当の創設等に伴い交付するものであり、各地方公共団体の子ども手当の創設等に係る対象子ども数をそれぞれ基礎として算定するもの(現時点においては9月分までの支給に対応)。

なお、平成 22 年度の税制改正に伴う平成 23 年度の地方増収が地方交付税のみであることから、不交付団体に相当する一定の団体に係る平成 18 年度及び平成 19 年度の児童手当の制度拡充による負担について、児童手当及び子ども手当特例交付金の算定において調整し、所要額を確保することとしていること。

(2) 減収補填特例交付金

①住宅借入金等特別税額控除分

個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う地方公共団体の減収を補填するため、各地方公共団体の住宅借入金等特別税額控除見込額を基礎として算定するもの。

②自動車取得税交付金分(市町村分のみ)

平成 21 年度税制改正における自動車取得税の減税に伴う自動車取得税交付金の減収の一部を補填するため、平成 21 年度から平成 23 年度までの間、各年度 500 億円を各市町村の減収見込額に応じて算定するもの。

2. 地方特例交付金交付決定額(全国)

(単位:億円、%)

| 区 分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度伸率 |
|--------------------------------|--------|--------|--------|
| 都道府県 | 1, 169 | 1, 566 | △25. 4 |
| うち児童手当及び子ども手当特例交付金 | 633 | 1, 168 | △45. 8 |
| うち減収補填特例交付金 (住宅借入金等特別税額控除分) | 536 | 398 | 34. 7 |
| 市 町 村 | 1, 937 | 2, 265 | △14. 5 |
| うち児童手当及び子ども手当特例交付金 | 633 | 1, 168 | △45. 8 |
| うち減収補填特例交付金 | 1, 303 | 1, 097 | 18. 8 |
| 住宅借入金等特別税額控除分 | 803 | 597 | 34. 5 |
| 自動車取得税交付金分 | 500 | 500 | 0 |
| 合 計 | 3, 105 | 3, 832 | △19. 0 |
| うち児童手当及び子ども手当特例交付金 | 1, 266 | 2, 337 | △45. 8 |
| うち減収補填特例交付金 | 1, 839 | 1, 495 | 23. 0 |
| 住宅借入金等特別税額控除分 | 1, 339 | 995 | 34. 6 |
| 自動車取得税交付金分 | 500 | 500 | 0 |

3. 本県分

県 分 地方特例交付金: 9 億 2,792 万 7 千円

市町村分 地方特例交付金: 14 億 7,570 万 2 千円 (市町村別決定額は別紙5のとおり)

(単位:千円、%)

| 区 分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度伸率 |
|--------------------------------|-------------|-------------|--------|
| 都道府県 | 927, 927 | 1, 568, 755 | △40. 8 |
| うち児童手当及び子ども手当特例交付金 | 590, 479 | 1, 314, 035 | △55. 1 |
| うち減収補填特例交付金 (住宅借入金等特別税額控除分) | 337, 448 | 254, 720 | 32. 5 |
| 市 町 村 | 1, 475, 702 | 2, 114, 270 | △30. 2 |
| うち児童手当及び子ども手当特例交付金 | 608, 343 | 1, 391, 325 | △56. 3 |
| うち減収補填特例交付金 | 867, 359 | 722, 945 | 20. 0 |
| 住宅借入金等特別税額控除分 | 506, 176 | 382, 078 | 32. 5 |
| 自動車取得税交付金分 | 361, 183 | 340, 867 | 6. 0 |
| 合 計 | 2, 403, 629 | 3, 683, 025 | △34. 7 |
| うち児童手当及び子ども手当特例交付金 | 1, 198, 822 | 2, 705, 360 | △55. 7 |
| うち減収補填特例交付金 | 1, 204, 807 | 977, 665 | 23. 2 |
| 住宅借入金等特別税額控除分 | 843, 624 | 636, 798 | 32. 5 |
| 自動車取得税交付金分 | 361, 183 | 340, 867 | 6. 0 |

※上記交付金は、いずれも普通交付税の交付・不交付にかかわらず、全地方公共団体が交付対象となる。